

Linux セキュリティフルエディションをアンインストールすると、iptables 設定が書き換わってしまいました。これを防ぐにはどうしたらよいですか？

質問

Linux セキュリティフルエディションをアンインストールすると、iptables 設定が書き換わってしまいました。
これを防ぐにはどうしたらよいですか？

回答

Linux セキュリティフルエディションのインストーラは、インストール時にその時点の iptables 設定情報をファイルにバックアップし保持します。

Linux セキュリティフルエディションのアンインストール時には、ファイアウォール機能の有効／無効に関係なく、バックアップ・ファイルから iptables 設定情報をリストアし、現在の iptables 設定を上書きし、製品のインストール前の状態に戻す動作を行います。

※Linux セキュリティの Firewall デーモンを停止している場合には、製品アンインストール時に firewall_rules.dmp からではなく /etc/sysconfig/iptables からルールがリストアされます。

この動作による現在の iptables 設定の上書き操作を防ぐためには、以下の手順に従って、現在の iptables 設定をバックアップファイルに上書きしてから、製品のアンインストールを行ってください。

[Linux セキュリティフルエディションの Firewall デーモンを有効にして利用している場合]

①以下のコマンドで現状の iptables ルールを「/var/opt/f-secure/fsav/firewall_rules.dmp」に上書きします

```
# iptables-save > /var/opt/f-secure/fsav/firewall_rules.dmp
```

②製品をアンインストールします

```
# /opt/f-secure/fsav/bin/uninstall-fsav
```

③iptables ルールを保存します

```
# service iptables save
```

④OS 再起動します

```
# shutdown -r now
```

⑤iptables ルールを確認します

```
# iptables -L
```

[Linux セキュリティフルエディションの Firewall デーモンを無効（停止）にして利用している場合]

①既存の iptables のルールを保存します

```
# service iptables save
```

②製品をアンインストールします

```
# /opt/f-secure/fsav/bin/uninstall-fsav
```

③OS 再起動します

```
# shutdown -r now
```

④iptables ルールを確認します

```
# iptables -L
```

注意

1. Linux セキュリティフルエディションのファイアウォール機能の有効／無効（使用する／使用しない）に関係なく、このバックアップ・ファイルは作成されます。
2. これはフルエディションのみです。コマンドライン・エディションではファイアウォール機能はないため、この iptables の設定ファイルの製品インストール時のバックアップや、製品アンインストール時のリストアは行われません。